

● FCP平成23年度の取組に関する説明会の概要報告

日時 平成23年5月11日(水) 第1回 10:00～12:00

第2回 15:00～17:00

会場 中央合同庁舎4号館12階 第1219-1221会議室

参加者 94社／団体 120名(2回合計)

議事次第

- (1) 挨拶 農林水産省 総合食料局 食品産業企画課 FCPチームリーダー 神井弘之
- (2) 平成22年度の取組の概要について
- (3) 平成23年度の研究会のテーマ・進め方について
 - ・工場監査項目の標準化・共有化研究会
 - ・商品情報の効率的なやりとり研究会
 - ・企業力向上の場としてのマッチング・商談会の活用に関する研究会
 - ・消費者との対話のあり方研究会
 - ・FCP普及・戦略研究会
- (4) 質疑応答
- (5) その他

説明会概要



農林水産省では、フード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)平成23年度の取組に関する説明会を平成23年5月11日(水)に開催しました。神井FCPチームリーダーからの冒頭挨拶のあと、平成22

年度の活動内容の概要報告と、平成 23 年度の取組内容に関する説明をさせていただきます。

1.平成 22 年度の取組の概要について

FCPの立ち上げの背景や基本的な考え方についてご説明するとともに、平成 22 年度の取組概要として、「協働の着眼点」の活用に関する6つの「研究会」の活動内容や、FCPの仕組みを活用して地域の食品産業の活性化につながる活動を行っている8県の「地域ランチ」の活動内容についてご紹介しました。

また、FCPへの参画のパターンについては、情報共有ネットワークへの参加から研究会活動への参加、更には個々のビジネスの場面でのFCP成果物の活用に至るまで様々な段階があることから、自社の取組内容に合わせてご参画頂きたいことをご説明しました。

2.平成 23 年度の研究会テーマ・進め方について

(1) 平成 23 年度の研究会のテーマについて

平成 23 年度の研究会のテーマについては、平成 22 年度の成果報告会以降に行った情報共有ネットワークの参加事業者様・団体様からの募集において頂いたご意見・ご要望を踏まえ、以下のとおりとしたことをご説明しました。(※なお、以下の研究会の平成 23 年度の活動内容及びスケジュール等の詳細につきましては、別添の資料をご参照下さい。)

① 農林水産省が運営する研究会

- ・ 工場監査項目の標準化・共有化研究会
- ・ 商品情報の効率的なやりとり研究会
- ・ 企業力向上の場としてのマッチング・商談会の活用に関する研究会
- ・ 消費者との対話のあり方研究会

② 事業者の主体的な取組としての研究会

- ・ FCP普及・戦略研究会

アセスメント研究会（※後日改めて活動内容のご案内と参加募集を行う予定）

(2) 「消費者との対話のあり方」拡大研究会について（平成 23 年 6 月 14 日開催）

また、FCP情報共有ネットワーク参加の皆様から、東日本大震災が消費者の食への意識や行動に及ぼした影響についてFCPで取り上げて議論すべきではないかというご要望があったことを踏まえ、全ての研究会参加者の参画による意見交換と情報共有を行い、その結果を各研究会活動に活かしていただくことを目的として、「消費者との対話のあり方」研究会の拡大開催の形で意見交換の会を開催することをご案内しました。

なお、テーマは「震災後の消費者意識の変化への対応について」とし、各事業者様、団体様が消費者とのコミュニケーションを通じて把握して東日本大震災後の消費者意識の変化等について感じたことに関する情報を持ち寄り、情報共有と意見交換を行うものであることについてご説明しました。

(3) 参加申し込みについて

最後に、事務連絡として、平成 23 年度研究会の参加規約と参加申し込み方法について、各研究会の第 1 回目にご参加いただくための締め切りは、参加者の全体数把握の観点から5月 27 日（金）と設定させていただいていること、第 2 回目以降の研究会への参加申し込みは年間を通して随時受け付けることとすることについてご説明しました。

配布資料
